

水道水質基準等の見直し案の検討について

2022年6月27日に厚生労働省で開催された2022年度第1回水質基準逐次改正検討会において、水道水質基準等の見直し案が検討されました。

(1)水質管理目標設定項目における農薬類の目標値が見直され、イプロジオン(要検討農薬類)は強化(0.3→0.05mg/L)、シフルトリリン(その他農薬類)は緩和(0.05→0.06mg/L)されます。2023年4月1日から適用されます。

(2)水質基準項目「陰イオン界面活性剤」について、直近5年で基準値10%値超過は2017年度のみであり、今後、直近5年で基準値10%超過地点がなければ、水質基準項目から水質管理目標設定項目への分類変更が検討されます

(3)2022年3月21日、WHO飲料水水質ガイドライン第4版が公表されました。トリクロロエチレンについて、WHO飲料水水質ガイドライン値が強化(0.02→0.008mg/L)されたことを受け、水道水質基準値の算出に関する評価内容について検討される方針が示されました。

当社は水道法第20条に基づく厚生労働大臣登録の水質検査機関として、長年の水質検査の実績があります。お気軽にお問合せ下さい。

資料 [2022年6月27日付 厚生労働省](#)
[2022年度第1回水質基準逐次改正検討会資料](#)
有機分析箇所 金井佑生

下記の記事をご希望の方は編集室佐藤までご連絡下さい。

[1. 全国一級河川の水質調査結果について](#)

令和4年度水浴場(開設前)の水質調査結果について

環境省は、2022年4月上旬～同年6月中旬にかけて地方公共団体が実施した全国の「水浴場(開設前)の水質調査結果」を取りまとめました。

調査対象は、海水浴場、湖沼・河川の水浴場です。調査対象項目は、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、化学的酸素要求量(COD)、透明度の4項目です。

その結果、調査結果を得た756ヶ所すべてが水浴場として適当な水質でした。一方、水浴場として良好な水質である「適」(水質AA又は水質A)の水浴場は596ヶ所であり、全体の79%(2019年度691ヶ所、84%)でした。また、特に良好な水質である(水質AA)の水浴場は474ヶ所であり、全体の63%(2019年度586ヶ所、72%)でした。

参考項目として調査した腸管出血性大腸菌0-157は、実施されたすべての水浴場で不検出でした。

当社では、河川水等の環境水分析に加え、多くの排水項目の分析についても長年の実績があります。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談ください。

資料 [2022年7月4日付 環境省報道発表資料](#)

環境検査箇所 廣田森

臨時休業について(お知らせ)

誠に勝手ながら、当社では下記の通り社内行事の為休業させていただきます。何かとご迷惑をお掛けするとは存じますが、悪しからずご了承いただきたくお願い申し上げます。

臨時休業 9月8日(木)



消毒副生成物の検査の期間です！

特定建築物に該当する建物は、定期で水質検査が義務付けられています。中でも消毒副生成物の12項目は、水質検査の実施時期が決められており、6月～9月の間に実施する必要があります。詳しくは下記URLからもご覧いただけます。
特定建築物における水質検査:<https://www.knights.jp/knightsreport/reports/KR08005.pdf>

お問い合わせはこちら



お問い合わせはこちら

